

麻しん（はしか）患者の発生に伴う注意喚起について

令和元年11月25日、市内の医療機関から富山市保健所へ麻しん患者の発生届出がありました。今後、市内で患者が発生する可能性がありますので、感染防止のため、注意喚起をするものです。

記

1 患者の発生状況

(1) 患者 市内在住の男性（30歳代）

(2) 経緯

11月2～5日 タイに滞在。

11月15日 発熱が出現。

11月17日 発疹が出現。

11月18日 医療機関受診。抗体検査を実施。

11月25日 麻しんの抗体が陽性と判明し、麻しんと診断され、届出があった。

11月26日 遺伝子検査の結果、麻しんウイルスが検出された。

2 本市での対応

(1) 患者の行動調査を実施。

(2) 接触者の健康状況調査を実施。

3 市民の皆様へ

- ・症状から麻しんが疑われる場合は必ず事前に医療機関に連絡のうえ、受診してください。
- ・受診の際は、周囲の方へ感染させないように公共交通機関等の利用を避けてください。

【麻しんの症状と感染力】

- ・麻しんの感染経路には、空気感染、飛沫感染及び接触感染があり、極めて感染力が強いことが知られています。
- ・初期症状は、発熱や咳・鼻水などの風邪症状や、目の充血、関節痛など様々な症状が出ます。一旦熱が下がった後、再び高熱が出ると同時に全身に発疹が出現し、4～5日高熱が続きます。
- ・潜伏期は10～12日程度。合併症がない限り、7～10日程度で回復します。
- ・上記の風邪症状が出現する1日前から解熱後3日後程の期間は、他人にうつす可能性があります。

※麻しんを疑う症状があり医療機関を受診する際には、あらかじめ電話で麻しんの可能性があることを伝え、医療機関の指示に従って受診してください。

<お願い>

患者等の個人情報については、プライバシー保護の観点から本人等が特定されないことがないように、格段の配慮をお願いします。

【参考】麻しんの発生状況

年	H27	H28	H29	H30	R1
富山市	0	1	0	0	1 (本事例を含む)
富山県 (富山市含む)	0	1	1	0	4 (本事例を含む)
全国	35	165	189	282	731 (11月20日現在)